

現場の人間だけが知る喜びを糧に 建築の現場をプロデュースする



常に身につけている安全帯と腰袋。足場を組む際に使うラチェットレンチやボール等が入っている

岡建工事株式会社
三木 翔太さん（26歳）
千葉県出身、小学生の頃に「建築家」という名前の響きに憧れ、設計士をめざす。東京建築専門学校建築科に在学中、実際にモノを造る現場で経験を積みたいと考え、長年の実績から、岡建工事株式会社に入社。建築本部R・A・Dの主任として活躍中。

現場監督とは、人を動かす仕事 全体を把握し安全を確保する責任も

「家を建てる」仕事に憧れ、設計士をめざしてきましたが、造っていくところを実際に見たいという思いも芽生えてきました。そこで「現場を知っている設計士」をめざし、この仕事に就くことに。

現場で感じたのは、現場監督は「人を動かしている仕事なんだ」ということ。現場は個人住宅のような規模のものから、現在担当している中学校新築工事のように、日々職人さんだけでも100名以上という規模のものまでさまざま。そこで全体を把握し、的確に指示を出さなくてはなりません。協力業者の手配ひとつにしても、安全管理や作業効率の責任は重大です。勉強することがたくさんあり、奥の深さを実感しています。

思い通りに現場を動かしてみたい そして最終目標はやはり設計士！

いつか現場所長になり、自分の思い通りに工事を進めることが夢。10年後、20年後かわかりませんが、一人前の現場監督になれたら、次の目標は設計士。何歳になっても必ずやりとげると決めていました。就職前にいろいろ話を聞くことも大切ですが、話だけで判断するより、自分の目で見て、経験していったほうが早い。難しく考えずに飛び込んでみる、いいと思います。やる気を持ってれば、どこでも仕事はできる。どんな経験してみてください！

どんなお仕事？ 施工管理（現場監督）

いわゆる現場監督と呼ばれる仕事。職人が「モノを作る」仕事なら、監督は「モノを作るための環境を作る」仕事。現場作業として職人たちの打合せや施工状況の確認、記録を行うほか、工事写真や報告書の作成、整理、さらに工程表や施工図の作成、協力業者や資材の手配などの事務仕事も。現場監督は「建築のプロデューサー」とも言われ、現場を円滑に進めるための調整役として欠かせない存在だ。一日中飛び回ることも珍しくない。

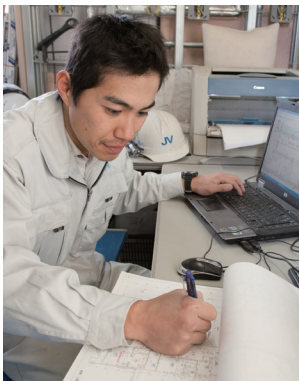
進行の遅れは根性で調整？ 「ありがとう」の一言が糧になる

作業が予定通りにいくと「どうだ！」とばかりに爽快感が得られますが、毎回そうはうまく進みません。納期は決まっているので、日程のズレは最終的に「根性」で調整します（笑）。実際に作業するのは職人さんなので、「僕も一緒に頑張るから」とこちらのやる気を見せ、「一緒に身体を動かして手伝ったり、掃除をしたり」「頑張ろう！」という雰囲気づくりも大事です。うれしいのは、建物を引き渡す際にお客様から掛けていただく「ありがとう」の一言。次も頑張ろうという気持ちになります。

何もないところにモノが出来ていくのを見ると毎回感動します。最終的に天井が張られ壁紙が貼られると見えなくなってしまう部分に、携わった人間だけが知る苦労が詰め込まれている…。それを見ることができなのが、現場監督の醍醐味ですね。

著名建築家を納得させた施工図 監督としての自信につながった！

印象深いのは、入社3〜4年目に著名建築家の方と仕事をしたときのこと。最初は私などまるで「若い子」扱い。意見を言うところではありません。



CAD画面で寸法確認しながら施工図を描いたり、作業の予定を組むのも大事な業務

そこで打合せ内容を毎回きちんと覚え、「前回はこういう話でした」「今回はこちらお願いします」と書記や進行役を買って出て、時々発言も加えていたのです。徐々に「三木さんはどう？」と話を振ってくれ、意見も聞き入れてもらえるようになりました。監督として認められたようで嬉しかったです。さらに私が描いた施工図を見て「これで行こう」と言われたときは「やった」と大きな達成感を得ました。実はいろいろ研究し、壁はこの見え方がきれいかな、でも作るにはこの方がやりやすいだろうなど、設計者の目線と職人さんの目線とを考え、両方が歩み寄れるように施工図を描いたのです。そこを認めてくれたのだと思います。相手の考え方を理解してから物事を考えていくと話がスムーズに進むことを実感し、とても勉強になりました。

三木さんの とある1日のスケジュール

- 7:00 起床
起きるとすぐに現場へ
- 8:00 出社、朝礼
- 現場作業
各種職人との打合せや施工状況の確認、記録など
- 12:00 昼食・休憩
監督同士で食事をしながら、打合せも
- 13:00 打合せ
現場監督と職人の責任者たちが集まって、仕事内容、進め方を確認、打合せ
- 13:30 再び現場作業へ
- 17:00 事務作業
工事写真や報告書等の書類作成、整理。工程表や施工図の作成、業者や資材の手配
- 18:00 業務終了・退社
- 20:00 帰宅後、夕食・入浴
- 24:00 就寝

岡建工事株式会社

墨田区東駒形1-1-10
TEL 03-3624-1711

大正12年に岡本材木店として創業。昭和32年に工事を分離独立させて岡建工事株式会社設立。総合建設業を展開する岡本グループの中心的役割を担っている。墨田区を中心に関東一円で建築施工事業を展開。一戸建て住宅やマンションをはじめ、オフィスビル、工場、公共建築物、寺社仏閣など幅広い建築物を手掛けている。災害に強く、安心して住める建物造りを基本理念として掲げ、長年の実績から、設計事務所や行政からも高い評価を得ている。

